

# かわら 版

みんなで守り、育て、未来に残そう 地域を支える生活交通



## バスの利用状況とバス等に 対する市の財政負担について

市では、公共交通を維持するために財政負担を行って  
います

今号では、バスの利用状況やバス等の運行維持に対す  
る市の負担についてご紹介いたします

### ■バスの利用状況

岡山県内の路線バスの利用  
者数は、昭和42年度の約一億  
三三〇〇万人をピークに減少  
を続け、平成21年度では約三  
〇〇〇万人、平成24年度では  
約二六〇〇万人に減少してい  
ます。

現在、市内では民間路線バ  
ス9路線、井原あいあいバス  
11路線が運行されています  
が、岡山県全体と同じく利用  
者数の減少が続いており、平  
成21年度から平成24年度ま  
での間に約八万一千人（12  
・1%）減少しています。

### ■バス等に対する負担額

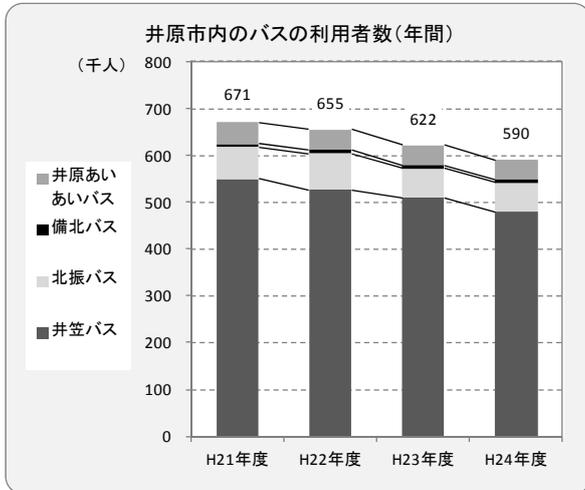
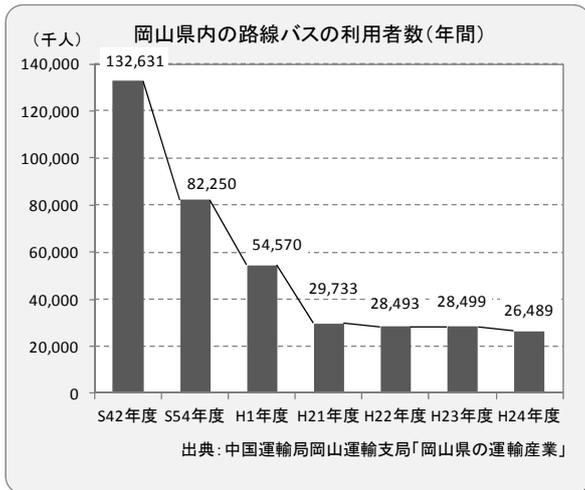
市では、民間の路線バス、井  
原あいあいバス、スクールバ  
ス及び予約型乗合タクシーの  
運行を維持するために、年間  
約一億四六〇〇万円を負担し  
ています。

この額は、市民1人あたり  
年間約三三〇〇円であり、利  
用者数の減少やバス事業者の  
厳しい経営状況等により、近  
年では増加傾向にあります。



こうした状況を踏まえ、市  
では、平成23年3月に策定し  
た「井原市地域公共交通総合  
連携計画」に基づき、路線・  
ダイヤの見直しや利用促進等  
に取り組んでいます。

公共交通は、車を運転でき  
ない学生や高齢者には欠かす  
ことのできない移動手段です。  
これからも、より利用しやす  
い交通体系を目指し様々な  
事業に取り組んでまいります。



### ■運行維持に対する市負担額

年度		H21	H22	H23	H24
負担額(千円)	民間路線バス	43,820	44,366	49,934	58,692
	井原あいあいバス	24,133	24,805	26,971	43,519
	スクールバス	44,957	44,510	43,546	41,739
	予約型乗合タクシー	-	195	451	1,901
	計	112,910	113,876	120,902	145,851
市民1人あたりの負担額(円/人)		2,518	2,569	2,753	3,321

# バスや鉄道に乗って お出かけしてみませんか？

乗って残そう  
公共交通！

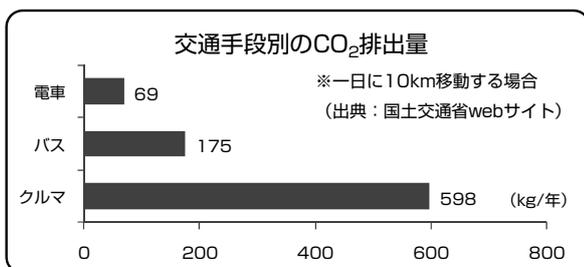


クルマはとても便利で快適な乗り物ですが、道路の渋滞や事故など、クルマには問題も少なくありません。クルマの使い方を見直して、たまには、バスや鉄道に乗ってお出かけしてみませんか？

## 1 バスや鉄道は、クルマに比べて 環境に優しい乗り物です。

国内の温室効果ガスの排出量の約 2 割が、自動車などの運輸部門によるものです。

バスや鉄道は、一度にたくさんの人を運ぶことができるので、クルマのかわりにバスや鉄道でお出かけすれば、CO<sub>2</sub> をあまり出さずに移動できます。

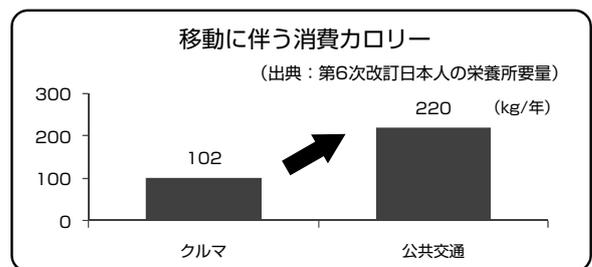


## 2 バスや鉄道は、クルマに比べて 健康的に生活できます。

クルマはずっと座ったまま移動できます。

だからこそ便利なのですが、健康やダイエットにはあまりよくありません。

例えば、クルマで 1 時間移動するかわりにバスや鉄道を使えば、座ったままではないので、消費カロリーは 2 倍以上になります。



## 3 バスや鉄道は、クルマに比べて 安全に移動できます。

クルマの事故、「自分は大丈夫」だと思っていないませんか？

自分が運転しなくてもよいバスや鉄道と比べて、クルマには危険が伴います。

全国の事故発生件数をもとにすると…

50年クルマに乗り続けると仮定して、一生のうち、**100人に1人**のドライバーが死亡事故を起こします。

また、

**5人に3人**のドライバーが、事故でケガをさせてしまいます。

(出典：国立公衆衛生院、(社)日本損害保険協会)

いかがですか？

私たちは、クルマともう少し「かしこく」お付き合いすることができるのではないのでしょうか？

みんなが少しずつ、環境のこと、健康のこと、安全のことを考え、クルマの利用を控え、少しでも公共交通を利用することで、市の財政負担も軽くなり、みんなのまち、みんなの公共交通を守ることができるのです。

